

令和5年度 地域観光資源の多言語解説整備支援事業 スタイルチェッカー一覧

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。  
 注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

■スタイルチェッカーが所属している事業者

事業者名	所在地	連絡先	会社概要	事業内容	実績
有限会社人文社会科学翻訳センター Center for Intercultural Communication	東京都柏江市岩北1-1-1-609	03-3430-1780	(株)社会科学翻訳センター(代表 鹿野力)において和英翻訳・英文校閲を受け持つかわら英文雑誌The Japan Interpreterの編集部で翻訳・校閲を担当してきた武智学(たけちまなぶ)とリン・リッグス(Lynne E. Riggs)によって1990年に設立。リン・リッグスは1997年4月より2009年3月まで、学術雑誌Monumenta Nipponica(上智大学)のマネジング・エディターも兼務。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■和文から英文への翻訳</li> <li>・学術論文・書籍・時事問題(英字新聞・雑誌)</li> <li>・文化交流(作家・実業家・政治家・建築家等の著作)</li> <li>・エッセイ・スピーチ、展覧会パンフレット、その他</li> <li>■英文校閲、リライト、校正その他</li> <li>・出版および会議のための英文の校閲、リライト、校正</li> <li>・出版のための制作アドバイス</li> </ul>	The Vessels of Kaiseki (Summer 2022 exhibition catalogue), Miho Museum  Nikken Journal, Nos. 50-53 (Flick Studio/Nikken Sekkei), 2022  2019-2022: 観光庁分かりやすい多言語解説整備事業/7人の専門スタイルチェッカーチーム運営  人間文化研究機構、国際日本文化研究センター、日本考古学協会、大槻能楽堂、コスモ・ピアーナル、岐阜現代美術館、などの配信記事、エッセイ、論文、など。